

## 筑波海軍航空隊記念館指定管理者の候補者の選定について

指定管理者の候補者を選定いたしましたので、ご報告いたします。

### 1. 対象施設

筑波海軍航空隊記念館

### 2. 応募団体名（非公募）

株式会社プロジェクト茨城

### 3. 非公募の理由

(株)プロジェクト茨城は、平成25年より筑波海軍航空隊記念館を運営し、その間に戦争関連の貴重な資料等を収集するとともに、独自のノウハウを活かして様々なイベントを開催し、これまで約18万人の入場実績を上げています。

また、展示品の約85%は同社が所有及び所有者からの寄託を受けているもので、当該施設と密接不可分な関係にあります。

以上のことから、非公募とするものです。

### 4. 選定基準

- (1) 公の施設の運営において利用者の平等な利用が確保されるものであるか。
- (2) 公の施設の効用を最大限に発揮させるものであるか。
- (3) 公の施設の管理に係る経費の縮減が図られるものであるか。
- (4) 公の施設の管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有するものであるか。

### 5. 指定管理者とする候補者名及び理由

候補者名 株式会社プロジェクト茨城 代表取締役 金澤 大介

選定理由 施設の運営に当たり公共性、公益性を前提に、各施設において各種事業を展開し、稼働率を向上させるなど、計画の実現性、これまで管理運営業務を適正に執行している同社の実績を評価し、選定しました。

### 6. 指定期間

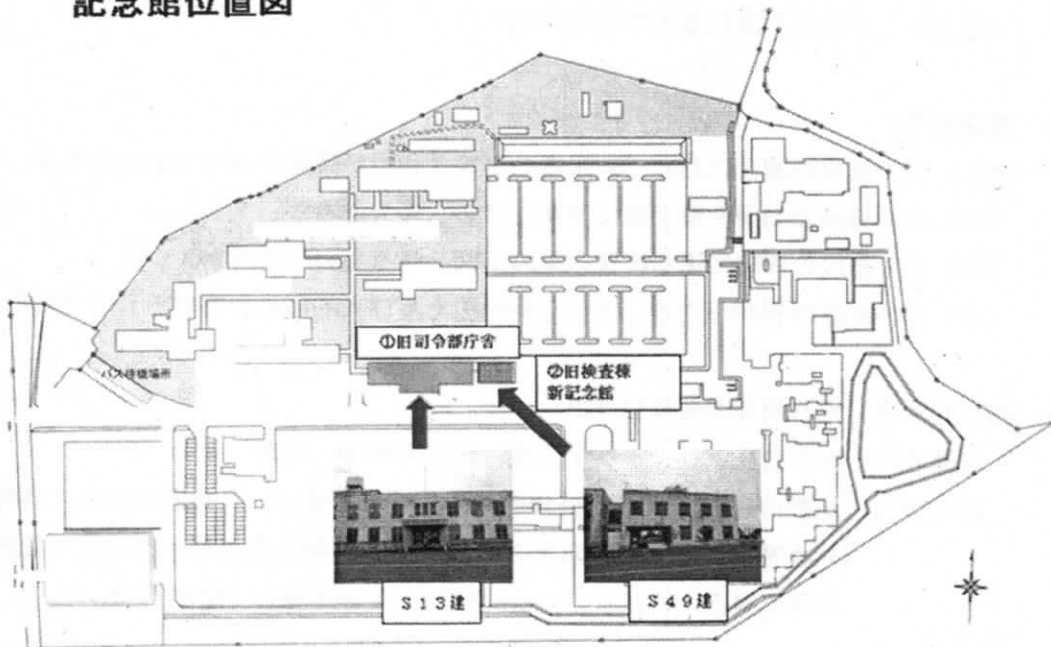
平成30年4月1日から平成35年3月31日まで（5年間）

### 7. 指定管理料（予定額） 28,500千円（5年間）

## 施設の概要書

施設の名称	筑波海軍航空隊記念館
施設の所在地	笠間市旭町654番地（茨城県立こころの医療センター内）
施設の設置目的	太平洋戦争末期に特攻隊員として多くの若者を戦場に送り出した筑波海軍航空隊があった笠間市が、特攻隊員を主とした当時の関係者の遺品や資料等を保存展示することにより、歴史への理解を深め、世界の恒久平和の実現に役立てるとともに、地域の教育及び文化の向上並びに地域の振興に寄与する事を目的とする。
施設の概要	<p>旧管理棟 RC造3階建・1,684.87㎡</p> <p>旧検査棟 RC造2階建・500㎡</p> <p>来客用駐車場4,270㎡・バス専用駐車場1,292㎡</p> <p>定期休館日 毎週火曜日（その日が休日に当たるときは、その日以降直近の休日でない日とする。）</p> <p>年末年始の休館日 12月29日から翌年1月3日まで</p>

## 記念館位置図



## 団体の概要

団体の名称	株式会社プロジェクト茨城
法人格	株式会社
代表者名	金澤 大介
所在地	茨城県笠間市笠間2372番地5
設立年月日	平成24年5月23日
資本金	10,000円
平成28年度売上額	11,800,458円
従業員数	5名

### 団体の特色

「映像による文化・歴史の継承と町の活性化」を社訓とした法人格に所属する社員と、多くのボランティアスタッフによって構成されたフィルムコミッション活動や、各種イベント、官民共同事業等を実施する団体。

「プロジェクト茨城」は、旧映画『HAZAN』製作委員会及び支援の会、旧映画『桜田門外ノ変』オープンロケセットスタッフ等で構成され、当初、映像を活用した地域振興を行う事を目的とした非営利の任意団体として発足しました。美術館等での無料上映を前提とした板谷波山没後50年記念事業、映画『波山をたどる旅』、渡辺裕之さん初監督作品である映画『桜田門内の変！？』等の製作の為、2012年法人化。2013年より、筑波海軍航空隊記念館事業実施の為に、社員の雇用。

### 施設管理実績

映画「桜田門外ノ変」のロケセット	平成22年1月から平成25年3月末
笠間の家	平成25年4月から平成30年3月末
筑波海軍航空隊記念館	平成25年12月から平成30年3月末
笠間市地域交流センター「トモア」	平成29年4月から平成30年3月末

## 年間の事業計画

### ・【主な事業内容】

#### (1) 資料収集

筑波海軍航空隊記念館では、当時を生きた全ての方が体験した戦争の記憶の継承を目的に戦争資料・記憶・証言を収集します。

#### (2) 保存

収集した資料は、笠間市生涯学習課などと連携し、戦争資料のアーカイブス化を目指し、保存・検証していきます。

#### (3) 継承

検証を終えた公開するべき資料は、記念館での展示の他、必要があればメディアへのリリース、映像・映画化を行い、積極的に国内外へ発信していきます。

### ・【付随する定期事業計画】

記念館の利用者サービス向上と、利用促進を目的に以下の業務を実施します。

#### (1) 企画展の開催

定期的な企画展の開催を行います。

#### (2) 講演会等イベントの開催

戦争体験者・戦死研究者等による定期的な講演会の開催の他、目的に応じた慰霊祭等の各種イベントを開催致します。

### ・【保守点検】

施設、及び史跡の維持管理・保守に努め、日々の清掃業務等の他、安全安心な公共としての施設管理を厳守します。

## 自主事業計画

記念館の主となる業務、

・企画、展示業務、資料の収集、調査、保存、発信に加え、以下の自主事業を予定しています。

### ・【講演会・イベント等の開催】 拡充

例えば、2016年に実施した『岩波書店×太秦映画社×筑波海軍航空隊記念館』のコラボイベント&講演会&上映会や、2017年夏に実施した『ヤングアニマル（白泉社）×吉本興業×筑波海軍航空隊記念館』のコラボイベント×展示会×講演会×上映会の様な、記念館の集客&収益・広報等に繋がる講演会やイベントを、定期的で開催します。

・【美術館的な「友の会」制度の導入】新規

遺族会、隊友会的な組織であった「筑波海軍航空隊友の会」を発展継承、慰霊祭を開催する他、記念館支援組織としてボランティア&後援会としての役割をもった美術館的な意味合いの「筑波海軍航空隊友の会」を発足、会員を募集して参ります。

※30年度会費目標 500,000. ➡34年度会費目標 1,500,000.

・【外商班、営業班の新設】新規

短期事業であったこれまでは行っていなかった、営業活動・外商活動を専門のチーム編成により、組織的かつ積極的に行って参ります。

チラシ・ポスターの掲示のお願い等を、近隣の関係施設に配布していく他、旅行会社や学校など積極的に、特にツアー見学の誘致を行って参ります。

また、所有する豊富な海軍資料を活用したお土産品などを、地元業者などとの協力により開発し、記念館から働きかける積極的な広域連携等により、全国の類似施設で外販を行って参ります。

※記念館グッズ取り扱い施設 平成 29 年実績 1 施設 ➡平成 30 年目標 10 施設 ➡平成 32 年目標 30 施設 ➡～平成 34 年度目標 40 施設

・【フィルムコミッション活動】拡充

映画「永遠の 0」のフィルムコミッション誘致は、記念館事業の基盤を作るまでの効果がありました。その後に行われた「ジョーカーゲーム」「海賊と呼ばれた男」「女囚セブン」などのロケ誘致も、ロケ使用料による直接の収益のみならず、記念館に新たな観光需要を生み出しています。

元々がフィルムコミッション活動を行う団体である「プロジェクト茨城」は、2016 年～2017 年で誘致した「咲-SAKI-」での記念館を中核とした笠間市全域での撮影誘致の様に、積極的に記念館のみに留めない周辺地域を含めてのロケ誘致を行い、記念館との周遊効果を狙って参ります。

※年間ロケ収入目標 1,500,000. ～2,500,000.